



井川図書館



中央図書館



特集 本の扉を開けて、新しい出会いを

新型コロナウイルス感染拡大のなか、2回目の夏を迎えます。昨年に引き続き、楽しみにしていた市内外の夏のイベントが中止になったり、行きたかったところへの旅行も難しい状況となっています。

こんなときは、お気に入りの本と一緒に、程よく冷えた快適な室内で過ごすのはいかがですか。ページをめくるたび新しい出会いが見つかる、読書について考えます。

時間が無い!? 現代の読書事情

2018年、文化庁が実施した「国語に関する世論調査」によると、1か月に本を1冊も読まないという人が全体の47・3%と、およそ半数近くとなっています。また、以前と比べて読書量が減っていると答えた人は67・3%となっており、過去の調査結果と比較すると、読書量は減っていると答えた人は増加傾向にある、という結果が出ています。

メリットいっぱい!! 読書がもたらす 効果いろいろ

読書量は減少傾向にありますが、読書には様々な効果があることが分かっています。知識や教養が得られるだけでなく、理解力、想像力、語彙力、コミュニケーション力などを高めることができるといわれています。また、音楽鑑賞や散歩よりも高いストレス緩和効果が認められています。

特に小さな子どもたちにとってはその効果はさらに大きくなります。読解力、集中力が養われ、人の気持ちを理解することにつながるとも言われています。

意外と知らない!? 図書館のこと

皆さんは、図書館を利用したことがありますか?三好市には中央図書館と井川図書館の2つの図書館が、三野、山城、西祖谷、東祖谷(現在は耐震工事のためお休み中)に4つの図書室があります。

中央図書館と井川図書館には、図書、音声映像資料を合わせて約13万冊と、膨大な蔵書があります。

実は、図書館は本を借りるだけでなく、大人も子どもも楽しめるDVDが数多く取り揃えられています。また、ボランティアによる紙芝居や絵本の読み聞かせのほか、すぐに予約が終了してしまう人気の体験講座も多く開催されているのです。

図書館はいろんな利用の仕方があります。そこにはきっと、あなたの新しい世界を広げてくれる出会いが待っているはずです。

心強い味方!! 図書館スタッフの皆さん

図書館には、図書館司書をはじめ、本が大好きなスタッフがいます。本探しに困ったり、読みたい本をリクエストしたいなど、皆さんの心豊かな読書ライフをお手伝いしていきます。今回は図書館スタッフの皆さんにとっておきの一冊を選んでいただきました。

私のおすすめ

鹿の王 上・下巻
上橋 菜穂子 著

2015年本屋大賞 日本医療小説大賞

登場人物の心情や描写などが繊細に表現されています。読み進めていくといつの間にか、自分がそこに存在しているかのような、そんな気持ちになります。上橋さんの壮大な世界観にひきこまれます。



三好市中央図書館 主任司書
嘉重さん

幼稚園の時から本が大好きだったという嘉重さん。本好きになったきっかけは、幼稚園の先生がしてくれた本の読み聞かせや紙芝居。それが楽しくて幼稚園に通っていたそうです。

「本が大好きで、いったん本を読み始めるとご飯の時間も忘れて読みふけるような子どもでした」と話してくれました。

小さなお子さんの、この本が好き、という気持ちを大切にしたい。気に入った1冊を何度も何度も読みたい子もいます。いろいろな本に触れてほしい、という思いもありますが、大好きな1冊に親しむうちに読書に馴染んできて、自分で「次は何を読むかな」と考える力が身につけられると思います。また、何度も読むことで読解力も深まると思います。

いろいろな講座に参加してみよう



中央図書館主催による色鉛筆画講座（前期）が中央公民館で6月27日、講師に藍住町在住のイラストレーター、西山欣子^{にしやまきんこ}さんを招いて開催されました。色鉛筆画講座では水彩色鉛筆やパステルを使用し、風景画や静物画などを描きます。初めて講座に参加する初心者はもちろん、長年通う常連の生徒さんまで全員が楽しめる講座となっています。

西山先生は約10年前から定期的に三好市で講座を行っており、和気あいあいとした雰囲気です。以前は、生徒が向かい合ってお互いに褒め合い、アドバイスしながら行われていましたが、今は感染対策のため並んでの受講になっています。それでも、最後に出来上がった作品を鑑賞する時間が設けられ、お互いに褒め合う声飛び交いました。後期は冬の開催を予定しており、画材やモデルを変えながら行われます。

三好市図書館協議会

市民委員を募集します

本年度、三好市図書館協議会委員定数10人のうち2人を公募します。

図書館協議会は、図書館の運営について意見を述べる機関です。市民委員の任期は2年間で市の規程により報酬が支給されます。

応募資格

4月1日現在で市内在住の18歳以上の方（高校生を除く）

応募方法

各図書館などに備え付けの応募申込書に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAX、メールでお申し込みください。申込書は三好市ホームページからもダウンロードすることができます。

応募締切 7月26日（月）17:00 必着

お問い合わせ先

三好市教育委員会社会教育課
〒778-0003 三好市池田町サラダ 1737-1
☎ 72-3900 📠 72-3916
✉ shakaikyoku@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

図書館データ

三好市中央図書館

2020年度 年間来館者数 25,278人
三好市池田町サラダ 1836-1 ☎ 72-2781
JR 阿波池田駅前
開館時間 10:00～19:00
休館日 毎週水曜日 年末年始 館内整理日

井川図書館

2020年度 年間来館者数 28,637人
三好市井川町岡野前 64 ☎ 78-4311
ふるさと交流センター 2F
開館時間 10:00～19:00
休館日 毎週火曜日 年末年始 館内整理日



前川 さん

私のおすすめ

なんでもひける世界地図
成美堂出版編集部

長引くコロナ禍、遠い世界に思いをはせて世界地図を眺めるのが好きです。この本は各国の首都、国旗、場所などの情報が探しやすい、かつ細かく正確にまとめられています。



小西 さん

私のおすすめ

世界をすくう虫のすべて
内山 昭一 著

徳島大学では食用コオロギの研究実用化が進んでいますが、この本ではいろんな昆虫食が紹介されています。世界の人口が急増し食糧難が心配されるなか、まさに虫が世界を救うかもしれません！

三好市中央図書館

スタッフに聞くおすすめの一冊



小川 さん

私のおすすめ

君の脾臓をたべたい
住野 よる 著

2016年「本屋大賞」第2位に選ばれ、翌年には映画化もされるなど高い評価を得ている作品。登場人物が心を通わせながら成長する姿が切なく、そして予想をはるかに超えた展開に驚かされました。

本と映画化DVD
両方置いてありますよ



平尾 さん

私のおすすめ

あま〜いしろくま
柴田 ケイコ 著

もともと絵本が大好きです。中でもこの絵本は、おいしそうなおやつがたくさん登場します。ほんわかとした絵のタッチや、柔軟な視点や発想がかわいくておもしろいです。

